

議案第22号 令和6年度松田町一般会計予算【討論】

反対討論

寺嶋 正 議員

令和6年度松田町一般会計予算について反対の立場から討論を行います。町の一般会計予算は52億円で、前年度対比1千万円の増となっています。歳入の主な町税は15億146万円、地方交付税13億円、国庫支出金5億2812万円、町債2億7170万円です。地方債の令和6年度末現在高見込み額は54億1220万円となっています。町税は減少傾向にあり、自主財源の確保等に努め、町有地の有効活用、未利用地の宅地化などに取り組むことです。

課題として、消防松田分署土地購入事業では用地買収費に8千万円、物件損失補償に要する経費として令和8年度まで1億1500万円の債務負担行為が行われています。契約状況が全く見えない中で予算計上し、後年度にリスクを先取りする債務負担行為は好ましくなく、慎重に対応すべきです。新松田駅周辺整備事業では、今後、再開発によるビル建設や北口駅前広場整備

などの大型事業が控えています。当面、扶助費、公債費の増加、公共施設の老朽化による維持管理経費が増えるなど厳しい財政運営が予測され、町民サービス低下を招かないような町政運営を行うことです。

18歳までの小児医療費助成事業や寄地区への子育て世帯等の移住・定住化促進事業などは評価しますが、いくつかの問題点を述べておきます。小中学校体育館や生涯学習センターのホール並びに練習室等の使用料を引き上げているので利用者を増やすこと。AIオンデマンドバス実証実験では、運行エリアを拡大し利便性を向上させ、パスポート会員などの利用者を増やし持続可能な事業にすること。子育て支援の拡充では、町独自のすこやか祝金は新生児一人につき5万円を維持すること。学校給食費を値上げしており保護者負担軽減措置補助金を恒久的に増やすことなど申し上げて反対討論とします。

賛成討論

中津川 定雄 議員

一般会計予算の総額は、2事業の繰越額を併せると54億5千万円となり、町としては高水準の予算規模となっている。

歳入では、寄附金であるふるさと納税について、多くの方に町を応援して頂けるよう積極的な受け入れに努められたい。

歳出では、人口減少が著しい寄地区への子育て世帯の移住定住促進を図る目的で定住奨励金制度が創設された。寄幼稚園と寄小学校を存続させるためには子育て世代の急速な増加が不可欠であり、定住奨励金制度

が即効薬になることを期待する。

みやま運動広場の人工芝新設事業として約1億4千万円が計上されたが、補助金の活用などにより町負担が少なくなるよう工夫されている。

重点事業である新松田駅周辺整備推進事業には都市計画決定に向けた委託料や後年度の財政負担の軽減を図るための基金積立金など必要額が計上されており、給食費保護者負担軽減措置事業等のソフト事業も含め町の総合計画に合致した予算編成となっているので、賛成討論といたします。

賛成討論

北村 和士 議員

『チルドレンファースト 未来ハツナグ 町の機運上昇』と銘打ったコロナ明け初めての予算案です。

昨年発表された人口統計では、約10年前には2040年の松田町の人口は、7055人まで減少するとされたものが、8563人となり、約1500人の上方修正となりました。これはこれまでの実績が第三者からも評価された嬉しいニュースです。ただ、コロナ明けでの人口減少のスピードが増している状況も考えると、人口増加策は必須です。国や県が条件不利地域への移住者に最大100万円を交付していることから、「待ったなしの人の取り合い」となっています。

その中で、移住検討者が条件不利地域ではない松田町を除外しないための「寄地区定住奨励金」の創設。松田町を知ってもらうための寄みやま運動広場の人工芝化を中心にした「スポーツツーリズム事業」。住民が松田町の交通利便性をフル活用するための新松田駅周辺整備事業。そして駅から効率的に移動することができる新モビリティサービス推進事業と力の入れ具

合が見て取れます。

その他にも鳥獣防除対策事業、アーバンスポーツパーク整備、次世代デジタル人材育成事業や英語教育推進事業など、多くの年代への心配りが見られます。また、新松田駅周辺整備を控えた中での中長期的財政推計を見ても、25%未満なら健全といわれる実質公債費比率も2039年の9.9%をピークにその後徐々に下がり、経営状況も良好と言えます。町の預金である財政調整基金は13億円。令和元年決算時に3.5億円だったことを考えると、住民サービスを落とさずに大型事業への備えもできていると考えます。

しかし、現時点では個々の事業について粗方の目標しか決まっていなかったものがあることも事実です。それでも賛成しますのは、松田町役場への信頼と期待からです。個別の事業について、1人1人が覚悟をもって、真摯に執行し、私たちもサポートしていくことで、必ずより良い松田町に繋がることと信じ、賛成討論といたします。